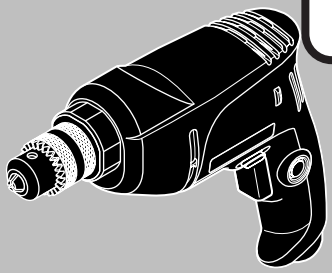
取扱説明書



電気ドリル
GBM 350RE/N2型

アース不要
の二重絶縁

このたびは、弊社電気ドリルをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。

BOSCH

目　次

安全上のご注意

警告表示の区分 2
電動工具全般についての注意事項 2
電気ドリルについての注意事項 7

リサイクルのために

電動工具本体の回収にご協力ください 10

本製品について

用　途 11
各部の名称 11
標準付属品 12
仕　様 12

使い方

作業前の準備をする 13
作業する 15
別売アクセサリーを使う 18

困ったときは

故障かな？と思ったら 20
修理を依頼するときは 21

お手入れと保管

クリーニング 22
先端工具のお手入れ 23
保　管 23

安全上のご注意

◆火災や感電、けがなど事故を未然に防ぐため、この『安全上のご注意』を必ず守ってください。
◆ご使用になる前に、『安全上のご注意』をすべてよくお読みのうえ、指示に従って正しくお使いください。
◆お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られるところに、この『取扱説明書』を保管してください。

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 に区分してありますが、それぞれには次の意味があります。

⚠警告 ◆ 誤った取り扱いをしたとき、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

⚠注意 ◆ 誤った取り扱いをしたとき、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容。

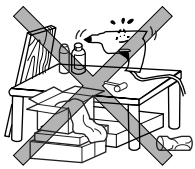
なお、 ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

電動工具全般についての注意事項

ここでは、電動工具全般の『安全上のご注意』についてご説明します。今回お買い求めいただいた電気ドリルには、当てはまらない項目も含まれています。

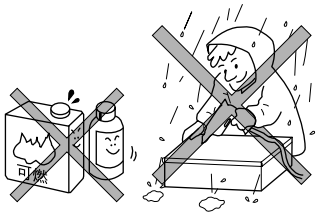
⚠ 警　告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。



◆ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。

2. 作業場の周囲状況も考慮してください。



◆ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
◆ 作業場は十分に明るくしてください。
◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

3. 感電に注意してください。

◆ 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）

4. 子供を近づけないでください。

◆ 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
◆ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。

6. 無理して使用しないでください。

◆ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

7. 作業に合った電動工具を使用してください。

◆ 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

8. きちんとした服装で作業してください。

◆ だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
◆ 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。

9. 保護めがねを使用してください。

◆ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

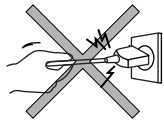
10. 防音保護具を着用してください。

◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

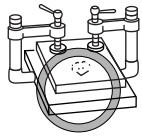
◆ 電動工具に集じん機などが接続できる場合には、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

12. コードを乱暴に扱わないでください。



◆ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

13. 加工する物をしっかりと固定してください。



◆ 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

14. 無理な姿勢で作業をしないでください。

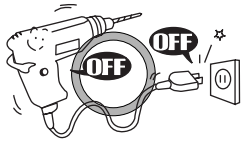
◆ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
◆ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
◆ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または修理認定工場に修理を依頼してください。
◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

◆ 使用しない、または、修理する場合。
◆ 刃物、砥石、ビット等の付属品を交換する場合。
◆ その他危険が予想される場合。



17. 調節キーやレンチ等は、必ず取り外してください。

◆ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取り外してあることを確認してください。

18. 不意な始動は避けてください。

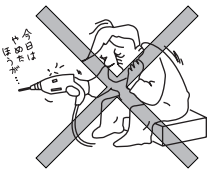
◆ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
◆ プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

◆ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

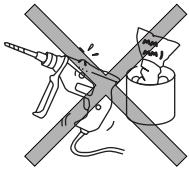
20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

◆ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
◆ 常識を働かせてください。
◆ 疲れている場合は、使用しないでください。



21. 損傷した部品がないか点検してください。

◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか、十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
◆ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
◆ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または修理認定工場に修理を依頼してください。
スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または修理認定工場へ修理を依頼してください。



◆ スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

22. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

◆ 本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

◆ 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店または修理認定工場に依頼してください。
◆ 修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

電気ドリルについての注意事項

電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、電気ドリルをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。

⚠ 警　告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で供給してください。

◆ 表示以外の電圧で使用すると、回転が異常になり、事故の原因になります。

2. 作業する箇所に、電線管や水道管、ガス管など埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。

◆ 埋設物があると、先端工具が触れたときに感電したり、漏電やガス漏れが発生したりして、事故の原因になります。

3. 穴あけ作業中、電気ドリル本体が振り回されることがあります。本体は確実に保持してご使用ください。

◆ 確実に保持しないと、けがの原因になります。

4. 使用中は、先端工具や回転部、切りくずなどの排出部に、手や顔などを近づけないでください。

◆ けがの原因になります。

5. 使用中に電気ドリルの調子が悪くなったり、異常音がしたりしたときは、直ちに「電子無段変速スイッチ」を切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店または弊社修理認定工場に点検・修理を依頼してください。

◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。

6. **誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、先端工具や電気ドリル本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
   ◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

7. **石綿は、人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときは、防じん対策をしてください。**

8. **高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、電源コードを引っ掛けたりしないでください。**
   ◆ 材料や電気ドリル本体などを落としたとき、事故の原因になります。

⚠ 注　意

1. **先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。**
   ◆ 確実でないと外れたりし、けがの原因になります。

2. **使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。**
   ◆ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。

3. **作業直後の先端工具、材料、切りくずなどは大変熱くなっていますので、触れないでください。**
   ◆ やけどの原因になります。

4. **回転させたまま、台や床などに放置しないでください。**
   ◆ 事故の原因になります。

5. 穴あけ作業など、表示能力内の作業のみにご使用ください。

◆ 表示能力を超える作業をすると、電気ドリル本体に支障をきたすだけでなく、けがの原因になります。

6. 過負荷で回転が止まるような作業は、行わないでください。

◆ 電気ドリル本体に支障をきたすだけでなく、けがの原因になります。

リサイクルのために

電動工具本体の回収にご協力ください

弊社では、不要になった電動工具本体のリサイクル活動を推進しています。不要になった電動工具本体を処分するときは、お買い求めになった弊社電動工具取扱販売店にご相談ください。

資源保護・環境保護のため、弊社の推進するリサイクル活動にぜひご協力くださいますよう、お願い申しあげます。

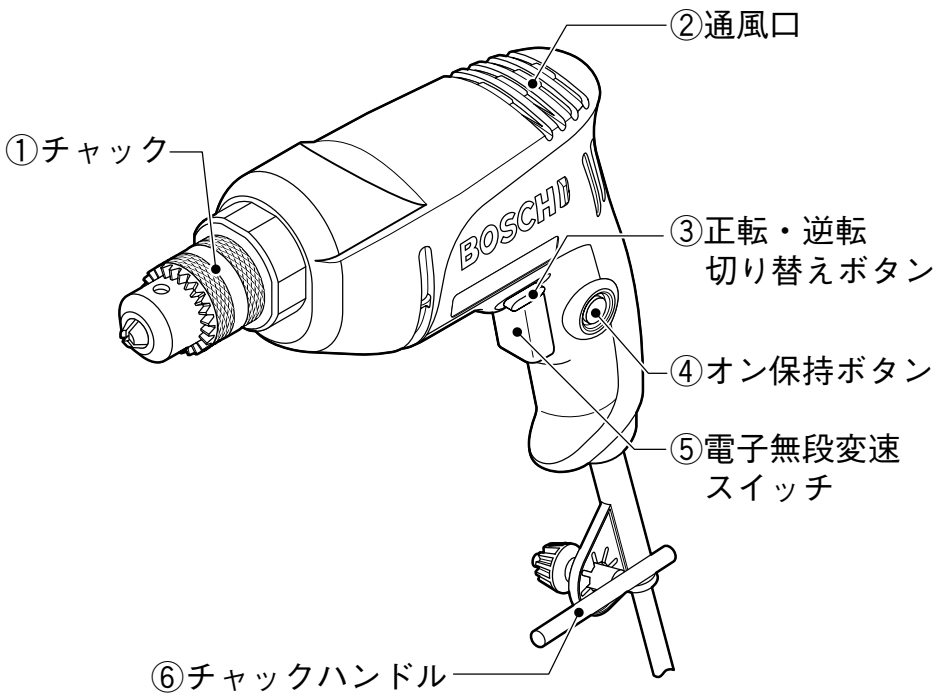
電動工具本体の回収・リサイクルは、弊社の製品に限らせていただきます。

本製品について

用　途

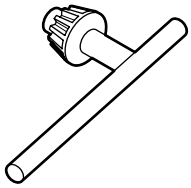
◆ 木材、金属、プラスチックなどの穴あけ

各部の名称



◆このイラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

標準付属品



チャックハンドル
品番：1 607 950 045

仕　様

型　番	GBM 350RE/N2
使用電源	単相　AC100 V，50/60 Hz
消費電力（入力）	350 W
チャック	
型　　式	キーチャック
把握範囲	1.0～10 mm
回転数（無負荷時）	0～2500 min^{-1} {回転/分}
電子無段変速機能	有
正転・逆転機能	有
穴あけ能力（最大径）	
鉄　　工	10 mm
木　　工	20 mm
アルミニウム	13 mm
質　量	1.1 kg

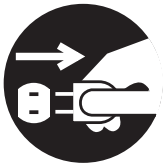
使い方

作業前の準備をする

⚠警告

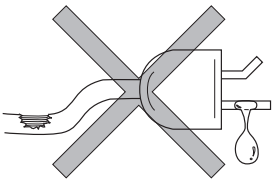
◆ 作業前の準備をするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

◆ 電源コードや電源プラグが損傷しているときは、直ちに使用を中止してください。お買い求めの販売店または弊社修理認定工場に修理を依頼してください。



使用電源を点検する

- 単相　ＡＣ100 Ｖ（50/60 Ｈｚ）か？
- コンセント不良（ガタ）のため、電源プラグが簡単に抜けないか？
- 電源コードが断線していたり、電源プラグが破損していたりしていないか？



先端工具を取り付ける・取り外す

⚠警告

◆ けがの発生を防ぐため、電源プラグをコンセントから抜き、先端工具の取り付け・取り外し作業をしてください。

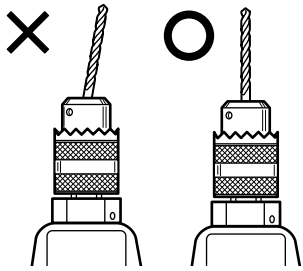
⚠注意

◆ 穴あけ直後の先端工具は高温になります。冷たくなってから、先端工具を取り外してください。

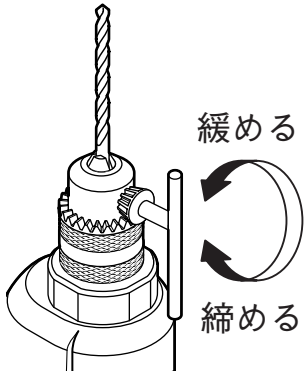
◆ 先端工具は、刃先に触れないように注意して扱ってください。けがの発生を防ぐため、手袋を着用して扱ってください。

取り付け

① チャックの3か所の穴のうち、1か所の穴にチャックハンドルを差し込み、反時計回りに回します。
チャックのつめが開きます。
② 先端工具をチャックに差し込みます。
③ チャックのつめが先端工具を均等につかんでいることを確かめます。



④ チャックの穴にチャックハンドルを差し込み、時計回りに回します。
⑤ 3か所で均等に締め付けます。
⑥ 1〜2回穴あけをしたあと、再度手順④の作業を行います。（3か所で行う必要はありません）



取り外し

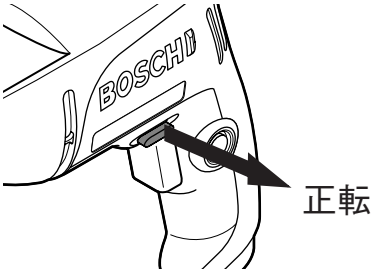
① チャックの3か所の穴のうち、1か所の穴にチャックハンドルを差し込み、反時計回りに回します。
チャックのつめが開きます。
② 先端工具をチャックから抜き取ります。

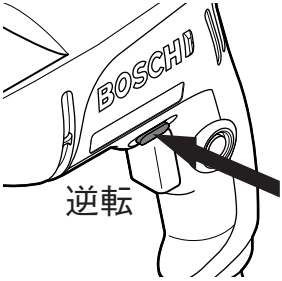
作業する

⚠警告

◆「電子無段変速スイッチ⑤」が引き込まれていたり、いっぱいまで引き込まれた（オン保持）状態になっていないことを確かめてから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

1「正転・逆転切り替えボタン③」を切り替える





2電源プラグをコンセントに差し込む

3 「電子無段変速スイッチ⑤」を操作する

⚠警告

◆ 穴あけ作業中、電気ドリル本体が振り回されることがあります。本体は確実に保持してご使用ください。
確実に保持しないと、けがの原因になります。

◆ 作業中は常に、電気ドリル本体より後方に電源コードがくるようにしてください。
電源コードが回転部に巻き込まれると事故の原因になります。

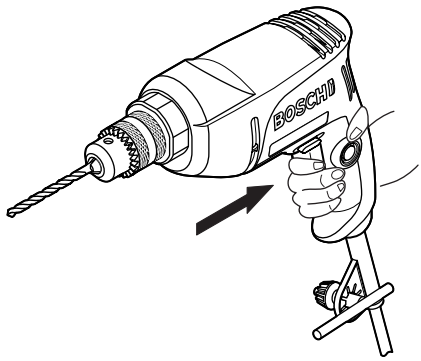
⚠注意

◆ 作業時、無理に電気ドリル本体を押しつけて回転数を大幅に低下させるようなことはしないでください。
先端工具を傷めて作業効率が下がったり、本体が故障したりします。

◆ 穴あけ直後の先端工具は高温になります。やけどを負う恐れがありますので、触れないでください。

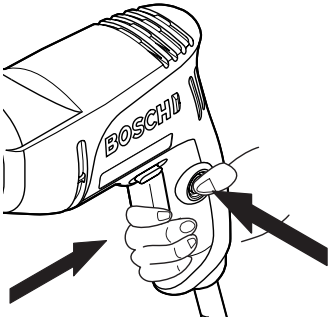
使い方

① 先端工具を材料に当てます。
②「電子無段変速スイッチ⑤」をゆっくり引き込みます。



☞「電子無段変速スイッチ⑤」の引き込む加減で、回転数が調節できます。
☞ 止めるときは、「電子無段変速スイッチ⑤」から指を離してください。
☞ 電気ドリル本体が熱くなったときは、「電子無段変速スイッチ⑤」をいっぱいまで引き込み、3分間ほど空転（無負荷運転）させてモーターを冷やしてください。
☞ 金属への穴あけ時、穴があく瞬間に若干電気ドリル本体を押しつける力をぬくと、振り回されてけがをする危険が少なくなります。
☞ 大口径の穴あけは、まず小さい穴をあけておいてから行うとより簡単になります。

連続作業のとき

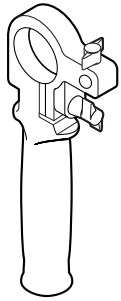


① 先端工具を材料に当てます。
②「電子無段変速スイッチ⑤」をいっぱいまで引き込みます。
③ 引き込んだ状態で「オン保持ボタン④」を押します。
④「電子無段変速スイッチ⑤」から指を離します。
⑤「オン保持ボタン④」から指を離します。

☞ 止めるときは、再度「電子無段変速スイッチ⑤」を引き込んで指を離してください。

☞ 電気ドリル本体が熱くなったときは、「電子無段変速スイッチ⑤」をいっぱいまで引き込み、3分間ほど空転（無負荷運転）させてモーターを冷やしてください。

サイドハンドル

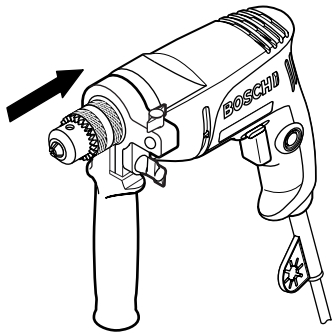


作業中に安定した姿勢が取れ、疲労を減らすことができます。

品番：1 612 025 024

サイドハンドルの取り付け

①「サイドハンドル固定ネジ」を緩めます。
② サイドハンドルを本体に差し込みます。
③ サイドハンドルを回して、作業に適した位置に合わせます。
④「サイドハンドル固定ネジ」を締めます。



サイドハンドルの取り外し

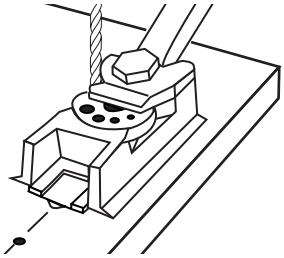
①「サイドハンドル固定ネジ」を緩めます。
② 本体からサイドハンドルを抜き取ります。

☞ サイドハンドルは穴あけを垂直に行うための補助装置です。正確な穴あけを行い、ドリルビットの破損を防ぐためには、サイドハンドルではなくスイッチを保持する手に力を入れて本体を押しつけてください。

ダボ穴ガイド

木材へのダボ穴加工、金属パイプやタイルへの垂直穴あけが正確に行えます。

品番：2 607 000 549



☞ 別売アクセサリーは、それぞれに付属する説明書をお読みになり、ご使用ください。

☞ その他の別売アクセサリーにつきましては、カタログをご覧ください。

困ったときは

故障かな？と思ったら

① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症　状	原　因	対　処
「電子無段変速スイッチ⑤」を引き込んでも、回らない	電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをコンセントに差し込む
	電源コードが断線している	修理を依頼する
	スイッチが故障している	修理を依頼する
「電子無段変速スイッチ⑤」が引き込めない	「正転・逆転切り替えボタン③」が中途半端な位置になっている	“正転”か“逆転”の位置にしっかりと切り替える
回ったまま、止まらない	「電子無段変速スイッチ⑤」がいっぱいまで引き込まれた（オン保持）状態になっている	「電子無段変速スイッチ⑤」を再度引き込んで指を離し、オン保持状態を解除する
穴あけなどに時間がかかる（穴があかない）	先端工具が摩耗している	先端工具を研磨するか、交換する
	使用電源の電圧が低い	100Vの電源を使う
	「正転・逆転切り替えボタン③」が“逆転”の位置になっている	「正転・逆転切り替えボタン③」を“正転”の位置に切り替える
先端工具が挿入できない	チャック内に異物がつまっている	異物を取り除く

修理を依頼するときは

◆『故障かな？と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社お客様ご相談フリーダイヤルまでお尋ねください。

◆修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
または、弊社ホームページでご案内しています修理認定工場から最寄りの修理認定工場をお選びいただくか、ボッシュ電動工具サービスセンター（BSC）にご相談ください。

◆この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンター（BSC）までご連絡ください。
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

お客様ご相談フリーダイヤル　0120-345-764
土・日・祝日を除く、午前10：00～12：00、午後1：00～4：00

ボッシュ株式会社ホームページ　http://www.bosch.co.jp

ボッシュ電動工具サービスセンター北海道（BSC北海道）
〒003-0873 北海道札幌市白石区米里3条2-6-33
TEL 011-875-2388　FAX 011-879-2138

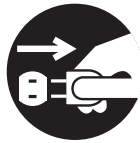
ボッシュ電動工具サービスセンター（BSC）
〒360-0117 埼玉県大里郡江南町上新田295
TEL 048-536-7171　FAX 048-536-7176

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本（BSC西日本）
〒890-0131 鹿児島県鹿児島市谷山港2-5-16
TEL 099-262-3689　FAX 099-210-8607

お手入れと保管

⚠警告

◆ お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

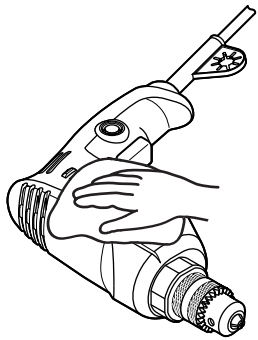


クリーニング

通風口やチャックなどのゴミ、ホコリを取り除く

乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る

☞ 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。



先端工具のお手入れ

摩耗している鉄工用ドリルビットを研磨する
（別売ドリルビットシャープナーを使う）

⚠警告

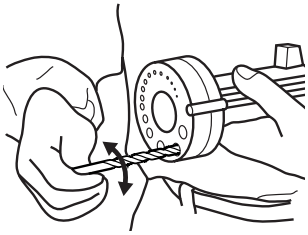
◆ 別売ドリルビットシャープナーで鉄工用ドリルビットを研磨するときは、穴あけ時と同じように通電するので、注意して作業してください。

ドリルビットシャープナー

品番：S41型

交換砥石：S41型用

品番：2　608　600　029



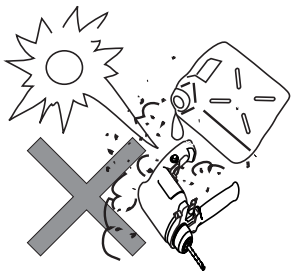
● 20サイズ（2.5～10 mmφ）の鉄工用ドリルビットを簡易研磨できます。

☞ ドリルビットシャープナーの使い方につきましては、付属の説明書をお読みください。

保　管

電気ドリルを使った後は、きちんと保管する

● 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
● 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
● 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。
● ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。



● 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
● 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
● 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。

BOSCH

ボッシュ株式会社　電動工具事業部

ホームページ：http://www.bosch.co.jp

〒224-8501　神奈川県横浜市都筑区牛久保 3-9-1

お客様ご相談フリーダイヤル

0120-345-764

（土・日・祝日を除く、午前10：00～12：00、午後1：00～4：00）

EMA-GBM350/N2

1 619 P00 321